

日本物理療法学会機関誌 物理療法科学 投稿・執筆規定

1. 目的

本誌は日本物理療法学会の機関誌として、物理療法に関連する学術領域の研究を公表し、リハビリテーション医学・医療の発展に寄与することを目的とする。なお、オープンアクセスジャーナルとして研究成果を広く社会に還元する。

2. 名称

本誌は和名「物理療法科学」、英名「Japanese Journal of Electrophysical Agents」、略記名「JJE」とする。

3. 投稿者の資格

本誌への投稿は、物理療法学に寄与する論文であれば日本物理療法学会員に限らず投稿を受理する。ただし、筆頭著者が非会員の場合は、論文掲載時に刷り上がり 1 頁 5,500 円の掲載費（ページチャージ）を徴収する。振込方法は、採択後に編集委員会より指示する。筆頭著者が本会員の場合は掲載費無料とする。

4. 原稿の種類

原稿の種類は、「原著」、「報告」、「症例研究」、「総説」、「短報」、「その他」とする。論文の内容は、物理療法に関するものであれば分野を問わない。著者は投稿時に希望原稿種類を明記するが、投稿後に編集委員会で変更を指示する場合がある。

(1) 原著：新規性・独創性が高く、明確な結論を示した論文。

(2) 報告：

研究報告：原著に次ぐ物理療法の発展に資する内容の論文。予備的研究を含む。

症例報告：症例の評価・治療の経過について論理的に提示し、考察を行った論文。

(3) 症例研究：症例の臨床的問題点や治療結果について科学的な研究手法に基づき分析・考察した論文。

（例：ABAB 試験によるシングルケーススタディや少數のケーススタディ等）

(4) 総説：物理療法に関する最新知見や重要事項を解説した論文。総説は編集委員会からの依頼原稿を原則とする。

(5) 短報：研究の速報・略報として簡潔に記載された短い研究論文。

(6) その他：システムティックレビュー、物理療法に関連する活動・実践・調査報告等（情報・紹介・体験・海外事情）の論文。

5. 投稿原稿の条件

他誌に掲載または投稿中ではなく、本規定に従って作成されている和文原稿に限る。全著者が論文内容に異議のないことを証明するために全著者より自筆の署名を得ることとする。

6. 原稿の採否

原稿の採否や掲載順は編集委員会で決定する。論文は、複数の査読者によるピアレビューの結果を参考に編集委員会で採否を決定し通知する。査読の結果、編集方針に従って修正を依頼することがある。また、編集委員会の責任において、多少字句の訂正を行うことがある。投稿された原稿は原則として返却しない。

7. 著者校正

論文採択後の著者校正は初校のみとし、原則として文章、図表等の大幅な書き換えは認めない。別刷は有料とし、著者の希望部数分、実費にて徴収する。最終校正時に希望を確認する。

8. 研究倫理

(1) 論文は日本物理療法学会倫理規程（<https://www.jseapt.com/rinrikouryou>）に準拠したものとする。

(2) ヒトおよび動物を対象とした研究の論文で倫理審査が必要な研究では、著者の所属施設やこれに準ずる機関の倫理委員会または動物実験委員会の承認を得ていることを必須とする。

(3) 投稿時に倫理委員会または動物実験委員会の承認が得られていない場合、投稿を受け付けない。なお、症例報告は必ずしも倫理委員会の承認を必要としないが、個人情報保護法を遵守し、その対応について明記する。

(4) 投稿の際には、誓約書（投稿・著作権譲渡承諾書）に審査・承認を得た倫理委員会または動物実験委員会の名称、承認番号、承認年月日を明記する。

(5) 倫理審査の承認を得ている場合、原稿には承認番号と承認年月日のみ記載し、所属先が分かるような倫理委員会の名称等は記載しない。倫理委員会の名称等は採用決定後の入稿時または校正時に記載する。

9. 利益相反

利益相反の可能性がある事項（コンサルタント料、株式所有、寄付金、特許など）に関しては、本文中に情報を開示する。その際、本文の最後（文献の前）に見出しをつけて記載すること。利益相反に関しては、本会が定める「利

益相反の開示に関する基準」を遵守する。投稿の際には、利益相反自己申告書（<https://www.jseapt.com/journal>）を論文と合わせて投稿する。

10. 臨床試験の登録

介入を伴う臨床研究については、研究に先立って UMIN-CTR などの公的な臨床試験登録システムに登録することや登録 ID を本文に記載することを推奨する。

11. 著作権

- (1) 論文等の著作権（著作権法 27 条翻訳権、翻案権等 28 条二次的著作物の利用に関する原著作者の権利）は、本会に帰属する。
- (2) 本会は、当該論文等の全部または一部を、本会ホームページ、本会が認めたネットワーク媒体、その他の媒体において任意の言語で掲載、出版（電子出版を含む）できるものとする。この場合、必要により当該論文の抄録等を作成して付すことがある。
- (3) 本誌に掲載された論文・記事等は、クリエイティブ・コモンズ 表示 4.0 国際（CC-BY 4.0）のライセンス条件下（<https://creativecommons.jp/licenses/>）で公開される。投稿の際には、誓約書（投稿・著作権譲渡承諾書）（<https://www.jseapt.com/journal>）を論文と合わせて投稿する。

12. 投稿原稿の構成

- (1) 表紙（タイトルページ）：著者情報として以下を記載する。1) 表題、2) 著者名、3) 所属先、4) 英文著者名、職種（PT, OT, MD 等）、学位（MS, Ph.D.等）、5) 英文所属先、6) 所属先住所・電話等、7) 責任著者連絡先住所・電話・e-mail 等。
- (2) 論文情報には以下を記載する（表紙の頁より必ず改頁し、作成する）。1) 希望原稿種別、2) 和文表題、3) ランニングタイトル、4) キーワード（和文）、5) 英文表題、6) 和文要旨文字数、7) 英文要旨語数、8) 本文字数、9) 図表枚数（文字数）、10) 電子付録（補足資料）ファイル数、11) 総頁数。
- (3) 表題は内容を具体的に、できるだけ簡潔に記載する。著者名は、論文に寄与するところの多い必要最小限とする。要旨は、内容を的確かつ簡潔に記載する（英文要旨は原著論文に限る）。なお、英文表題・要旨は原則としてネイティブ・スピーカーの校閲を著者の責任で受ける。キーワードは 3～5 個とする。
- (4) 本文は、1) はじめに、2) 対象と方法、3) 結果、4) 考察、5) 研究の限界と課題、6) 結論、7) 謝辞、8) 著者の貢献度、9) 研究資金、10) 利益相反、11) 文献とする。
 - 1) はじめに：研究の背景、意義、目的を先行研究との関連性を踏まえて記載する。
 - 2) 対象と方法：倫理的配慮および研究方法が再現・追試できるように記載する。
 - 3) 結果：研究により得られた結果を、本文、図表を用いて記載する。データは、検証、追試が行いやすいように図（グラフ）よりも表にして数値で記載する。
 - 4) 考察：得られた結果を分析・評価したことから論理的に推論できる範囲で記載する。
 - 5) 研究の限界と課題：採用した研究デザイン、対象、方法などから、研究の限界と課題を簡潔に記載する。
 - 6) 結論：研究で得られた結論を、200～300 字程度で簡潔に記載する。
 - 7) 謝辞：著者資格には該当しない研究への貢献者について記載する。
 - 8) 著者の貢献度：論文作成に関わった著者の具体的な役割・貢献内容について記載する。
 - 9) 研究資金：研究助成金の受給の有無およびその内容について記載する。
 - 10) 利益相反：利益相反の有無およびその内容について記載する（9. 利益相反参照）。
 - 11) 文献：論文に引用した文献のみを記載する。

13. 原稿の規定分量

「原著」、「報告」、「症例研究」、「総説」、「その他」については原則として刷り上がり 8 頁（13,000 字）以内とする。 「短報」については、原則として刷り上がり 4 頁（6,500 字）以内とする。図表は 1/4 頁大のもの 1 枚につき 400 字相当と換算する。原稿の種類を問わず、和文要旨（400 字程度）をつける。原著論文のみ英文要旨（250 語程度）をつける。

14. 原稿執筆時の注意点

投稿原稿は投稿フォーマットに従うこと。投稿フォーマットは日本物理療法学会ホームページよりダウンロードできる（<https://www.jseapt.com/journal>）。

- (1) 原稿は A4 用紙（上下・左右余白 20 mm）に 40 字×30 行設定で、Word に準ずるソフトウェアで作成する。
- (2) 常用漢字、現代仮名遣い、算用数字を用いる。句点にはピリオド（.）、読点にはコンマ（,）を使用する。
- (3) 本文および図表のタイトル・説明文には MS 明朝体 12 ポイントで作成する。イタリック体などの書体の指定については著者校正時に指定する。

- (4) 各見出し（対象と方法、結果等）前の1行を空ける。文章は1段組で打ち、段落毎に文頭1文字空ける。
 - (5) 数字や英文は半角文字を使用し、単位は半角英数字を組み合わせて入力し、単位記号は使用しない。
 - (6) 上付きや下付きの文字や数字など（H₂O など）は、著者校正時に指定する。
 - (7) 原稿には、頁番号および行番号をつける。
 - (8) 数量の単位は原則として国際単位系（SI単位系）を用いる。長さ：m、質量：kg、時間：s、温度：°C、周波数：Hz等を使用する。但し、物理療法機器のエネルギーがパルス波の場合、その頻度の表記にpps（pulse per second）を用いてもよい。
 - (9) 略語は初出時に和名とフルスペルを記載する。例：経皮的電気神経刺激（Transcutaneous Electrical Nerve Stimulation: TENS）
 - (10) 機器名およびソフトウェアは、「一般名称（製品名、会社名）」、「一般名（製品名、バージョン番号、会社名）」とする。
15. 文献記載
- 文献は引用文献のみとし、本文の引用順に並べ、引用箇所の右肩に1)などの番号で示す。本文原稿の最後に番号順に記載する。著者名は筆頭者から3名までを記載し、4名以上は「・他」もしくは「, et al」とする。英文ジャーナル名は、米国国立医学図書館目録（<https://www.ncbi.nlm.nih.gov/nlmcatalog/journals>）の省略形を用い、イタリック形（斜体）で記載すること。DOI番号がある場合は末尾に記載する。記載方法は下記の通りとする。
- (1) 印刷・電子ジャーナルの場合

著者名 AA. 論文タイトル: サブタイトル. ジャーナルタイトル（英文は省略形、斜体）. 発行年; 卷数（発行番号）: ページ番号. DOI
[DOIなし（印刷ジャーナル）]
1) Lewinnek GE, Lewis JL, Tarr R, et al. Dislocations after total hip-replacement arthroplasties. *J Bone Joint Surg Am.* 1978; 60 (2): 217-220.
2) 野嶺一平, 大鶴直史, 大西秀明・他. 経皮的脊髄直流電気刺激による歩行調整. 物理療法科学. 2020; 27: 56-61.
[DOIあり（電子ジャーナル）]
3) Jang SH, Cho MK. Relationship of recovery of contralateral ankle weakness with the corticospinal and corticoreticular tracts in stroke patients. *Am J Phys Med Rehabil.* 2022 Jul 1; 101 (7): 659-665. doi: [10.1097/PHM.0000000000001881](https://doi.org/10.1097/PHM.0000000000001881)
 - (2) 印刷書籍の場合

著者名 AA, 著者名 BB, 著者名 CC（団体名）. 書名: サブタイトル. 版. 出版社; 出版年.
1) Lloyd RV, Osamura RY, Kloppel G, et al, eds. WHO Classification of Tumours: Pathology and Genetics of Tumours of Endocrine Organs. 4th ed. Vol. 10. International Agency for Research on Cancer (IARC); 2017.
2) AMA Manual of Style Committee, eds. AMA Manual of Style: A Guide for Authors and Editors. 11th ed. Oxford University Press; 2020.
3) 庄本康治（編）. エビデンスから身につける物理療法. 第1版. 羊土社; 2017.
 - (3) 電子書籍の場合

著者名 AA, 著者名 BB, 著者名 CC（団体名）. 書名: サブタイトル. 出版社; 出版年. アクセス日. URL
1) Centers for Disease Control and Prevention. Guidance for institutions of higher education (IHEs). U.S. Department of Health and Human Services. Revised July 23, 2021. Accessed August 26, 2021. <https://www.cdc.gov/coronavirus/2019-ncov/community/collegesuniversities/considerations.html>
2) 厚生労働省. 2019年国民基礎調査の概況. 2020. 2022年7月1日閲覧. <https://www.mhlw.go.jp/toukei/saikin/hw/k-tyosa/k-tyosa19/dl/14.pdf>
 - (4) 電子情報の場合

発行者（団体名）. アクセス日. URL
1) International Society for Medical Shockwave Treatment (ISMST). Accessed July 1, 2022. <https://www.shockwavetherapy.org/about-eswt/>
 - (5) 翻訳本の場合

（翻訳元）著者名. 書名. 出版社名; 出版年（訳者名. 書名. 出版社; 出版年）
1) Michelle HC（編著）. Physical Agents in Rehabilitation from Research to Practice. WB Saunders; 1999（真野行生, 渡部一郎（監訳）. EBM 物理療法. 医歯薬出版; 2003）
16. 引用・転載の許諾
- 他著作物から図表等の引用・転載を行う場合は、著者の責任において投稿前に原出版社および原著者から許諾を得

た上で、その旨について引用した図表の説明に記載すること。

17. 図・表

- (1) 図表は、図1、表1などの一連の番号をつけ、1図表毎に表題・説明文を含めてA4用紙1枚に作成し、本文末にまとめる。図表はカラーでも可能とする。
- (2) 図の番号および表題は図の下、表の番号と表題は表の上、説明文等は図表の下につける。
- (3) 図表・写真の作成・編集はAdobe Illustrator, Adobe Photoshopに準ずるソフトウェアを使用する。図表・写真の画像形式は、eps, psd, tiff, jpegとし、解像度350dpi以上とすること。
- (4) PowerPointで図表を作成する場合は、各スライドをtiff形式で保存後に、Wordに貼り付けた後にPDFに変換する。

18. 電子付録（補足資料）

補足資料の図表等について10ファイルまで受け付ける。図表は、補足図1、補足表1などの一連の番号をつける。その他、図表の作成方法は17.図・表と同様とする。

19. 原稿投稿方法

下記の書類を電子メールに添付して投稿先に送付すること。原稿送付方法は、原則として投稿原稿一式を1つのPDFファイルにまとめ、電子メールに添付して編集部へ送付する。上記以外での投稿を希望する場合は、編集部に問い合わせせる。

- (1) 投稿フォーマットに準じた原稿
- (2) カバーレター（投稿フォーマット参照）
- (3) 投稿チェック表
- (4) 誓約書（投稿・著作権譲渡承諾書）
- (5) 利益相反自己申告書

論文投稿・問い合わせ先：

e-mail : jjea@ipec-pub.co.jp

物理療法科学 編集委員会

編集委員長 森下 勝行

（株）アイペック内「物理療法科学」編集部

〒170-0002 東京都豊島区巣鴨1-24-12

Tel : 03-5978-4067 FAX : 03-5978-4068

〈編集委員会〉

編集委員長 森下 勝行

編集副委員長 野嶺 一平

編集委員 生野 公貴 徳田 光紀 中村 潤二 中村 雅俊 福井 直樹 藤田 峰子 前重 伯壯 松尾 英明
山口 智史 吉田 陽亮

査読委員 飯塚 照史 植村 弥希子 大住 倫弘 大矢 暢久 岡崎 大資 岡村 和典 加藤 貴志 金指 美帆
久保田 雅史 小山 総市朗 坂口 顕 城野 靖朋 高橋 容子 瀧口 述弘 武田 和也 田中 雅侑
竹内 伸行 野添 匠史 平賀 篤 本田 祐一郎 松木 明好 光武 翼 宮良 広大 吉川 義之

付 則

本投稿規定および執筆規定は令和4年8月13日から施行する。

本投稿規定および執筆規定は令和3年6月1日から施行する。

本投稿規定および執筆規定は平成30年11月1日から施行する。

本投稿規定および執筆規定は平成28年11月6日から施行する。

本投稿規定および執筆規定は平成26年9月1日から施行する。

本投稿規定および執筆規定は平成24年4月1日から施行する。